パスカル・ロフェ（指揮）

Pascal Rophé, Conductor

　　2014～22年までフランス国立ロワール管の音楽監督、2022年からクロアチア放送響の音楽監督を務めている。

　パリ国立音楽院を卒業後、1988年のブザンソン国際指揮者コンクールで第2位。その後1992年から、ブーレーズやロバートソンとともにアンサンブル・アンテルコンタンポランを指揮した。レパートリーは現代音楽と18-19世紀の交響楽作品を共に扱うバランス感覚をもっていて、ベートーヴェンからストラヴィンスキー、ブーレーズに至る楽曲を、フランス国立管、フランス放送フィル、BBC響、フィルハーモニア管、スイス・ロマンド管、SWR響、N響、ソウル･フィルなどと演奏している。

　同時代の作曲家からの信頼が厚く、デュサパン、ジャレル、マントヴァーニなどから多くの作品初演を任されている。

　録音も多く、フランス放送フィルやBBC響などと共演したディスクが多くの賞を受賞。フランス国立ロワール管とは、デュディユー、デュサパン、デュカス、ルーセル、ドビュッシー、ラヴェルなどを取り上げたCDを立て続けにリリースし、好評を得ている。